

1 幼稚園・認定こども園教育目標等

<p>○教育・保育目標：自ら関わり、主体的に活動する子どもの育成</p> <p>○めざす認定こども園像：みんなで伸びよう・笑顔いっぱい・楽しい認定こども園</p> <p>○めざす園児像：自分を大切にする子・みんなを大切にする子・夢中になって遊ぶ子 気持ちよくあいさつする子</p>
--

2 今年度の重点目標

<p>○認定こども園として教育と保育を一体的に行い目標の具現化に取り組むとともに、学び合い高め合える職員集団を目指す。</p> <p>○積極的に地域に出かけ、自然に触れたり、地域の方と関わったりしながら多様な体験活動の充実を図る。</p> <p>○研修の充実を図り、主体的に活動する園児育成のための保育や特別支援教育にかかる研修を深める。</p>

3 学校自己評価項目の達成及び取組状況

(達成状況： Aよく達成できた B達成できた C課題がある D改善を要する)

分野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
園運営	・園児が安心・安全に園生活を送れるような保育・教育活動に努める。	B	・安全点検を実施し、不具合箇所については速やかに対応した。 ・非常訓練を毎月行い、園児・職員共に安全意識を磨く場とした。
	・園・学級経営方針・保育内容等についてわかりやすく伝えるように努める。	A	・園便りやクラス便り、ホームページやドキュメンテーション等で、保育活動について伝えた。
教育・保育課程	・身近な自然と触れ合う機会を大切にし、多様な体験活動を取り入れる。	B	・自然を取り入れた保育や、飼育栽培活動を通して、園児の興味関心が深まるような保育に努めたが丹波篠山の自然を感じながらというまでには至っていない。今後さらに工夫に努める。
	・小学校や地域の諸団体と連携し、様々な人と関わり温かい人間関係を育む。	B	・小学校との交流連携が増えたり、地域の方に園児と触れ合ってもらったりすることで感謝や憧れというような気持ちをもてるように配慮した。
課題教育	・「眠育」や「食育」を通して園児の基本的な生活習慣の確立に努める。	B	・「眠育」では、午睡前等に睡眠の大切さについて話す機会をもっている。「食育」では、食育便りを毎月発行し、園での活動状況や食育の情報発信に努めた。
	・「遊び」を通して安心感や達成感を味わい、主体的に生活できるような保育教育活動に努める。	A	・園児の思いに寄り添い、支えることで信頼関係を深め、安心感をもって「こんなことやりたい」と主体的に活動できるような環境構成の工夫に今後も努めていきたい。

4 幼稚園・認定こども園における学校関係者評価結果

(1) 重点目標についての評価

- ・「多様性と包摂性」の時代となっている。今後も多様な経験ができる環境づくりに努め、園児自らが主体的に取り組むことができる援助に努めてほしい。
- ・目指す園児像の中にある『夢中になって遊ぶ子』になるためにも、主体的に活動する園児育成のため、研修と実践を繰り返し目標の具現化に向かってほしい。

(2) 総合的な評価（意見・感想）

- ・園児が友達や先生と一緒に行事や生活に取り組む姿を見た。生活の中では、自分で考えたり、話し合ったりする姿があった。担任の先生方が互いに承認し合いながら保育を進めているからこそだと感じた。
- ・全職員での会議は難しいと思うが、課題点・困難な状況等についての情報共有こそしっかりと行い、園全体で取り組んでほしい。

(3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

評価項目	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
<ul style="list-style-type: none"> ・園児が安心・安全に園生活を送れるような保育・教育活動に努める。 ・園・学級経営方針・保育内容等についてわかりやすく伝えるように努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全点検や非常訓練の実施、また職員研修も行っていただいている。火災の訓練だけでなく、地震発生や不審者対応などを想定した訓練も行われている。安全・安心があつてこそその保育であるので、今後も緊張感をもって継続してほしい。 ・行事や参観日等で活動の姿を見ることで園児の育ちを保護者が感じておられる。ホームページやドキュメンテーション掲示で保育内容の発信もできているので、今後も家庭と園が連携を取り合い同じ方向に向かって保育・教育を行ってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然と触れ合う機会を大切に、多様な体験活動を取り入れる。 ・小学校や地域の諸団体と連携し、様々な人と関わり温かい人間関係を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園内外の自然に触れての保育に取り組んでいるが、園周辺への散歩などに出かける機会をさらに増やすことで、地域の方と触れ合う機会も増えることと思うので、計画的に実施してほしい。 ・小学校との連携を深めることで、就学後の園児のスムーズな生活につながっていくと思う。今後さらに深めていってほしい。また、福寿会との交流では、園児にとっても福寿会会員にとっても有意義な会となっているので今後も続けてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・「眠育」や「食育」を通して園児の基本的な生活習慣の確立に努める。 ・「遊び」を通して安心感や達成感を味わい、主体的に生活できるような保育教育活動に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「眠育」「食育」共にこども園だけの取り組みでは不十分であると思う。家庭との連携をさらに深めてほしい。 ・「食育」に関しては、調理員との連携を図りながら進められている。今後も細やかな連携を取りながら進めてほしい。 ・主体的な姿を大切にし、園児と保育者が共に進める活動が展開されている。「明日、こども園でこの遊びをしたい」という思いを大切に、一人一人に応じた保育・教育に努めてほしい。